

奈半利支所管内より



### 雑草はボクらが食べてあげるよ♪

(左) ミミちゃん♀ (右) 恋ヒデくん♂  
飼い主：松本 秀治さん

「あの人らあ何しゆうがやる？」と言わんばかりに、こちらを見つめるヤギのミミちゃんと恋ヒデくん。2か月前に秀治さんのもとにやってきました。年齢は分からないようですが、恋ヒデくんは生まれてまだ間もない子ヤギでしょうか。飼い始めたきっかけは、ヤギを飼っている友人、安田町の宮崎孝二さんと田野町の安岡征英さんから勧められたことでした。宮崎さんは四国銘鶏小軍鶏会の会長を務め、安岡さんと秀治さんはその会の会員です。軍鶏を愛する3人は、「シャモ友」から「ヤギ友」へととなりました。

畑に食べる雑草が無くなると、お隣さんの畑へお邪魔します。お隣さんもヤギも喜ぶ、一石二鳥ですね！私達が離れると「メェ〜」と切ない声で鳴き、後ろ髪を引かれる思いでした。

### 生まれたときからモヒカンさ

陰山 幸縁くん(1)

モヒカンヘアでバイクにまたがる幸縁くん。ちよっぴり足が届いていないけど、様になっていてカッコイ〜い〜♡

髪型は生まれたときから、モヒカン♪ この日、父・尚典さんのバイクに初めてまたがりました。上手に座ったので、大人たちを驚かせました。家ではテレビの好きな曲に合わせて、踊って遊んでいます。NHK Eテレの「いないいないばあっ！」が大好きです。ごはんはたくさん食べますが、それ以上に活発なので体重は標準をキープ！母・良子さんと行った離乳食教室では、誰よりもたくさん食べていたそうです。

尚典さんは大のバイク好き。幸縁くんが大きくなって、一緒にバイクに乗る日を心待ちにしています。

あき東支所管内より



安芸  
地区

## から こんにちは 今月の〇〇 気になる人

中山事務所より



### 花が咲く今が、1年で1番楽しみ

武本 廣勝さん(73)

自宅にある蘭小屋で、青花や紅花、更紗花など土佐寒蘭600鉢を育てている廣勝さん。毎日、朝一番に温度、湿度、天気チェックを欠かしません。蘭との出会いは30代の時、地元の先輩から教えてもらったことでした。「山で見つけた時の感触がたまらん！」と、山へ自生している蘭を採りに行く“山採り”に夢中になりました。惚れ込んでいる時期は、仕事前に山へ行ったり、夜中に自宅を出発して徳島県の山へも行ってたそうです。

例年、10月中旬から11月中旬まで100鉢ほどが花を咲かせます。蘭愛好家が1年で1番楽しみな時期です。花が見え始めると、廣勝さんら土佐愛蘭会中山支部のメンバーは展示会準備に大忙し。県内でもあちこちで展示会が開かれ、「蘭好きはこの時期仕事にならん」と笑って話してくれました。

### 女性経営者を増やしたい

濱田 由さん(37)

いつも明るく、笑顔が素敵な由さん。地域でも貴重な女性経営者の一人です。以前は事務職に就いていましたが、人間関係など悩みの多い日々でした。農業をする祖母・清美さんの姿に憧れ、思い切って転職。今年で3作目を迎えます。

父・志郎さんが手伝ってくれて、2人でナス26アールを栽培しています。今年完成したレンタルハウスには、環境制御装置や自動天窓を導入。圃場管理や栽培記録をデータ化し、栽培に活かしていきます。パソコンやスマホからでもハウスを管理できるので、農業は家事や育児をしながらでも取り組みやすいと感じています。「農業は自分の好きなペースで働けるので、女性にもおすすめ。周りのサポートがあれば、女性でも活躍できる仕事だと伝えていきたい」と前を向きます。

あき北支所管内より





# できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！

## 5 吉良川支所

### 青壮年部と児童が野菜の種まき



ジャガイモの種芋を植え付ける児童

青壮年部吉良川支部は9月24日、吉良川小学校の1、2年生、ひまわり学級の児童19人と野菜の種まきをしました。

部員らが畝を作り、ジャガイモとダイコンの種のまき方を説明。今後は児童が水やりと草引きを続け、年明けに収穫します。ダイコンは部員と一緒に漬物を作り、ジャガイモは児童だけでカレーを作る予定です。

宮川隆広副支部長は「作業を通して、収穫する喜びを感じてもらいたい。子どもたちがカレーを「ごちそうしてくれるのも楽しみ」と交流を喜びました。

## 3 地区本部

### 内原野焼の陶芸作りを体験



オリジナルの陶器を作る部員

女性部は9月12日、安芸市の内原野陶芸館で「女性大学ときめき学園」を開き、部員や地域住民24人が参加しました。

同市で約200年の歴史と文化を誇る内原野焼の陶芸作りを体験。部員は、ろくろを回しながら粘土で皿や碗の底を作り、手びねりでオリジナルの陶器を完成させました。仕上げの色も選び、1ヶ月半後の焼き上がり待ちます。部員は「ナス料理に合う皿を作った。盛り付けが楽しみ」と料理を想像しながら作りました。

## 6 吉良川支所

### とさのさとで西山きんときPR



来場者に「西山きんとき」をPRする細松さん

芸東集出荷場イモ部会は9月20日、「とさのさと周年祭」で「西山きんとき」をPRしました。今年は新型コロナウイルスの影響から県外での消費宣伝ができなかったため、県内での宣伝に力を入れます。

部員らは、産地や料理方法について来場者と話を交わしながら約200袋を販売。来場者は「焼き芋にして楽しみたい」と笑顔で話しました。

部員の細松卓也さんは「県内の人にPRできる良い機会。美味しいと言ってもらえて励みになる」と喜びました。

## 4 あき支所

### 女性部員が高齢者宅訪問



交通安全を呼びかける野町支部長

女性部安芸支部は9月9日、安芸警察署や市役所と協力して、安芸市で「県下一斉1万人訪問活動キャンペーン」を行いました。65歳以上の高齢者宅118世帯を訪問しました。

部員は、反射材付きのエコバッグや交通安全のチラシを手渡し、「交通安全には気を付けて、お大事にお過ごしください」と呼び掛けました。野町節子支部長は「地域のみなさんが交通事故に遭わないように、呼び掛けを続けていきたい」と話しました。



ウェブ会議で市場へ思いを伝える生産者ら

## 1 安芸営農経済センター 高知なす販売会議をウェブで開催 市場と販売方針を共有

本部園芸運営委員会は9月1日、主力取引先の青果卸売市場4社とウェブ会議システムを結んで、「高知なす販売会議」を開きました。産地と消費地の情勢や令和3園芸年度の販売方針等を共有し、連携を強化しました。

本園芸年度から、全国初のナスの機能性表示食品としての販売を目指します。JAは、機能性表示フィルムへ順次切り替えることを報告しました。産地からは、販促協力店での区分販売や店頭POPによるPRなどを要請。市場は「切り替え前からの市場関係者や取引先などへの周知を徹底する」「リーフレットでの説明や、QRコードでレシピへ誘導してはどうか」など提案がありました。また、5本袋詰め包装の規格変更での試験販売も要請。市場は「数量・市場を固定しながらの販売は可能」「ロットが大きいので、慎重に対応したい」など声が上がりました。

斎藤仁信委員長は「販売には、市場との連携が欠かせない。今後必要があれば、ウェブ会議でコミュニケーションをとりたい」と強調しました。



看板を設置した浜田知事と坂本会長（右から2人目）と出席者ら

## 2 田野支所 「集落活動センター大野台地」開所 持続可能な地域を目指して

田野町と安田町にまたがる大野台地で9月12日、「集落活動センター大野台地」が田野町の大野集会所に開所しました。開所式には浜田省司県知事や関係者、住民ら約40人が参加しました。

同台地では、水稲、オクラ、ジャガイモ、ナス栽培や畜産が盛ん。農作物の農作業受委託や牧草栽培、地域営農塾や視察研修などの農業振興を進めていきます。地域団体である「大野倶楽部」を中心に、農業体験やイベント出店、民泊など町内外での活動を強化し、地域の魅力も発信していきます。運営する集落活動センター大野台地運営協議会の坂本勝明会長は「大野台地は小さな集落だが、地域団体の活動が活発。文化、景観、暮らしを守りながら、持続可能な地域をつくらなければならない」と挨拶しました。浜田知事は「今までの伝統の積み重ねに、新たな活動の花を咲かせてほしい」と期待を寄せます。

同台地は田野町に76世帯174人、安田町に8世帯23人が在住。県内では、59番目の集落活動センターとなります。



# えいのう〜



## 栽培管理

# ナス

日射量も少なくなり、段々と寒さも増してきました。厳寒期に向けて早めの保温対策と加温機の準備をしましょう。

### 整枝・摘葉・光環境

二重内張りを開けるとともに、下部の本葉を摘葉して採光性を良くしましょう。厳寒期の赤果、青べた果、首細果の発生防止のため、1芽切り戻しとふところ整理を徹底して行いましょう。

### 灌水・追肥

灌水は1〜3日ごとを目安とし、天候、樹勢を考慮して晴天日の午前中に行いましょう。追肥は液肥として、灌水の度に10アール当たりチッソ成分で0.2〜0.4kg程度(1ヶ月当たり7kg)を目安にしましょう。

### 苦土欠対策

ヒラナス(赤ナス)台木以外は苦土欠乏が出やすいので、予防として水200ℓに1kgの硫酸マグネシウムを10日ごとに葉面散布しましょう。

### 温度管理

正午前後(11時〜14時頃)は26〜29℃(直射日光を避け、通風条件で測定)を目安に管理して、樹勢によって調整するようにしましょう。



安芸営農経済センター 営農指導課 安芸ブロック 樋口 敦勇

特に午前中の急激な換気は、湿度の低下によって「ボケ果」の発生を助長するので、早めに透かしながら徐々に温度を上げるようにしましょう(透かし開始目安:20℃)。花粉の稔性を確保するため、夜温は最低実温12℃を確保しましょう。

### CO2管理

CO2の施用効果は開始後14日頃から現れます。日中に大気レベル濃度(400ppm)を下回らないようにCO2を施用しましょう。効果的にCO2を施用するためには、ダクトによる株元局所施用しましょう。(ハウス野菜栽培管理よみ資料14参照)

### 病害虫防除

黒枯病、すずかび病対策として月2回程度の薬剤散布を行います。(ハウス野菜栽培管理よみ資料12参照) 病気が発生した場合は、発病部位を速やかにハウス外へ持出し、菌密度を低下するようにしましょう。



## 収穫期の管理

# カンキツ

収穫作業では安全管理を徹底し、怪我のないよう注意しましょう。

### 収穫作業時の注意点

収穫に使うハサミは、果実に傷をつけない形状の採果用ハサミを使用します。また、ユズの収穫ではトゲが長く硬いため、帽子やゴーグル等で頭部を保護し、服装はヤッケなどを着用し、収穫作業を行います。収穫作業時の注意点としては、①果実は引つ張らず、手で包み込むようにして枝やトゲによる傷を防止する。②枝は2度切りし、葉は完全に除去する。果梗部分が長いと他の果実を傷付けるのでヘタを残して果梗部分は必ず短く切る。また、2度切りの際には腐敗の原因になるのでハサミで果実を傷つけないように注意して下さい。③収穫した果実をポテ等の収穫袋からコンテナに移す時は、果実を地面に落とさないように低い位置で行い丁寧に扱う。また、三脚など使用する場合は、転落事故などがないように二つの収穫作業を慎重に行いましょう。

### 越冬柑橘類の鳥害対策

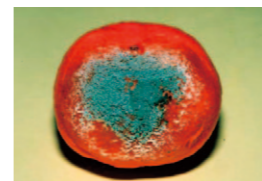
鳥害対策のため、果実袋の被覆や不織布(バオバオ等)で樹冠を覆うなど対策を行いましょう。

### 園地内清掃

越冬する病原菌や害虫の密度を下げ、来年度の病害虫の発生を抑えるため、枯れ枝や落ちた果実などは園地外に持ち出し処分しましょう。

### 貯蔵病害対策

収穫時の傷口等から病原菌が侵入し、徐々に病斑が拡大します。青かび病は貯蔵後期に発生が多く、緑かび病は貯蔵初期からの発生が多くなります。果実に水滴が付着している降雨直後は収穫を避け、収穫時のハサミ傷等に注意し、収穫前には薬剤散布を行います。(防除例)



青かび病

ベトトップジンフロアブル 1500倍 収穫前日 2回以内

## 振興センターだより

安芸農業振興センター 08871340138

# 環境制御技術のこれから

### 環境制御技術とは

植物は、太陽からの光をエネルギーとして利用し、炭酸ガスと水を使って光合成を行い、糖を生産します。この糖は植物体と果実を作ります。つまり収量を上げるためには、光合成を最大化させることが重要になります。こういった考えをもとに、植物が持つ能力を最大限発揮できるようにハウス内環境(光、温度、湿度、炭酸ガス、養水分など)や植物状態を正確に把握し、それらを最適化することで増収を図るのが「環境制御技術」です。環境制御技術はオランダが先進的な取り組みを行っており、高知の施設園芸でも、炭酸ガス発生器や環境測定装置などの機器の導入を進め、オランダから技術を学びつつ高知県での技術として発展させてきました。

### 安芸地区での活動

高知県では平成21年度オランダ・ウエストラント市との交流を契機に環境制御技術の開発と現地実証に取り組み、増収効果を確認してきました。安芸地域でも、環境制御技術普及推

### 進会議の設置、土佐あき新施設園芸システム勉強会の開催など、JA、生産者、県が連携して環境制御関連機器の導入を推進し、生産量の向上を目標に取り組んできました。結果、「環境測定装置」、「炭酸ガス発生器」、点滴チューブによる「日射比例灌水装置」等が普及し、10アールあたりの収量の向上に繋がりました。

### 環境制御からIOPへ

今までの取り組みでは、環境データを見える化し、湿度や二酸化炭素濃度などのハウス環境をコントロールしてきました。しかし、より進んだ環境制御を行うためには、葉面積や着果量、収量、光合成速度などの作物の状態を判断するデータや、経費や出荷量のデータも考慮する必要があります。そこで、県は「IOPが導くNext

次世代型施設園芸への進化」と銘打って、データを収集するクラウドや収集したデータを分析するためのAIを用いた、新しい農業へ向けた取り組みを行っています。

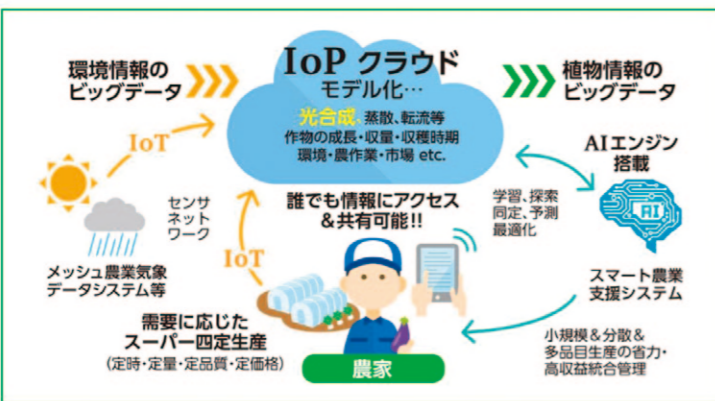
I o d (Internet of Plants) とは、

### IOTの農業版のことで、簡単に言えば、ハウスをインターネットに繋げ、ハウス内環境や作物の生育状況等の見える化を進める取り組みです。現在様々なプロジェクトが進行しており、研究分野では、環境データからハウス内光合成速度をシミュレーションする研究や、カメラによる葉面積・着果数を計測する研究などがあり、作物情報のデータ化を進めています。

### また、膨大なデータを収集するための県独自のIOPクラウドの立ち上げも進んでおり、その中に情報を集約し、AIに学習・分析させることで、単にデータを見るだけでなく、環境・収量・経費の見える化、ハウス内環境やシステムの監視、機器の遠隔・自動操作による省力化、データによる販路拡大などさまざまなことができるようになることが期待されています。

### 今後の取り組み

安芸地区では、令和元年度から、ナス、ピーマン等で実際に出荷予測のシステムやクラウドの活用、データ収集の実証などが始まっています。



IoTクラウドイメージ図 出典:IoTホームページより(IoP高知 検索)

溝渕 啓介

安芸農業振興センターでは、今後もさらなる環境制御技術・機器の普及を進めるとともに、IOPクラウドの活用など新しい取り組みを進め、競争力のある農業を支援していきます。



安芸営農経済センター 営農指導課 山影 学



皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

# みんなのひろば

9月号表紙、美味しそうなサツマイモがいっぱい。生産者の気持ちが伝わる表紙で、とても良かったです。  
(穴内出張所・60歳)

▼ぜひ、西山さんときのグラタンも作ってみてくださいね♪

カイゼン活動は、PDCAのサイクルがきちんと位置付けられ、結果として作業員の働きやすさ、品質の安定が保証されるなどの成果が上がって、大変すばらしい取り組みだと思います。  
(田野支所・68歳)

▼フアイル置き場を整える、物の所番地を明示する、といった作業もカイゼン活動とのこと。私も、身近なところから取り入れてみようと思います。

「キリン氷結土佐文旦」早速買って飲みました。スッキリ爽やか。つつい飲み過ぎました。  
(田野支所・61歳)

▼私も発売後、すぐに買いに走りました！文旦の風味が美味しかったです。飲み過ぎは注意しましょう！

西山さんときのグラタンは、作り方も簡単で子どもからお年寄りまで楽しめる味で美味しかったです。  
(吉良川支所・70歳)

▼みんなに食べてほしいと、おかげでもおやつにもできそうな料理を選びました。喜んでいただけ嬉しです！

クイズは毎回、90歳の母や主人、娘たちと頭をつき合わせて、楽しい時間を過ごしています。  
(あき東支所・67歳)

▼家族団らんの真ん中に「こうぐり」。これほど嬉しいことはありません。

私は芋けんぴや柑橘系の果物が大好きなので当たったら嬉しいです。神様、お願い！  
(芸西支所・12歳)

▼かわいいですね。どうか願いが届きますように！☆



小柴雅さん(羽根事務所)  
カゴに入ったコチットも、  
なんだか美味しそう！

## 広報のつぶやき

9月号で表紙を飾った「西山きんととき」。11月2日にさんさんテレビ「あぐりの地から」でも放送されましたが、ご覧いただけましたか？

この収録、撮影日が毎回雨、雨、雨、雨！イモは少なくなるし…放送日は着々と近づき…結局5回も流れて焦りました。雨男は誰や？もしや私、雨女？と関係者で責任のなすり合い(笑)完成した動画は、西山台地をドローンで空撮した絵が絶景！みなさんにも見ていただきたいです。JA高知県ホームページの「あぐりの地から動画集」から見るができます。ぜひ、覗いてください。  
(竹村)

## INFORMATION

# お知らせ

## 求人募集情報

安芸地区無料職業紹介所は、ナスやピーマンの農作業、ユズの収穫作業などを手伝ってくれるアルバイトを募集しています！勤務時間や日数は相談次第により調整もできます。

農家で働いてみたい！農業に少し興味がある！そんな方は、お気軽にお問い合わせください。



	野菜	ユズ
内容	ナス・ピーマンの作業全般(常時)	ユズ収穫・運搬作業(10月中旬～11月)
時間	1日3～6時間程度	1日7時間程度
場所	安芸市、芸西村	安芸市、北川村
給料	高知県最低賃金以上/時間	1,000円～/時間
休日	相談により決定	雨天時・その他相談により決定
研修	現地視察可(約2週間の試用期間)	現地視察可

**問い合わせ** 安芸営農経済センター営農企画課 0887-34-8325

## 税務相談日

**会場** あき支所3階

**時間** 10:00～16:00

令和2年12月9日(水)・令和3年1月13日(水)

**問い合わせ** 安芸地区本部 企画組合員課 0887-34-1515